

香川大学医学部医学科同窓会讃樹會

2019年度研究助成金／奨励金応募要領

1. 研究助成の目的

学内外で活躍している同窓生の行っている研究活動をサポートし、それらの社会への還元を促進すること。

2. 助成対象者

研究助成金：香川大学医学部（旧香川医科大学）医学科同窓会の会員で卒後25年以内の者で申請時より遡って5年間（準会員期間を含む）の会費を納入している者。

研究奨励金：香川大学医学部（旧香川医科大学）医学科同窓会の会員で卒後15年以内の者で申請時より遡って5年間（準会員期間を含む）の会費を納入している者。

尚、両者を同時に応募することはできない。

研究助成金は、1回受賞した後はインターバルを3年置いて再度申請が出来る。

研究奨励金は、1回の受賞をもってその後の申請は出来ないこととする。

3. 助成期間 1年間

4. 助成金額

研究助成金：1,000千円以内を1名。

研究奨励金：500千円以内を1名。

5. 選考方法 外部評価者（別表）による厳正な審査を経て、讃樹會理事会で決定する。

6. 研究成果の報告義務

（1）研究助成を受けた方は、助成研究の結果（助成研究報告書）と研究助成金の使途明細（助成研究会計報告）を、助成2年後の2021年4月30日までに提出する。

（2）助成研究の成果を助成研究発表会で発表する（日時・形式については別途連絡）。

（3）助成研究の成果は、原則として学術誌に投稿すると共に、別刷一部を提出する。

（4）過去において助成された実績がある応募者は、その助成課題に対して学術誌に投稿（受理を含む）しておれば、別刷一部を添付。ただし、既に提出済みの別刷はその必要はない。論文に讃樹會への謝辞が記載されていないものについては、受け付けない。

（5）以上の報告義務を怠った場合には、助成金の返却を求める場合がある。

尚、やむを得ず申請者が手続きを完了できない場合には、共同研究者によってすべての報告が代行されるものとする。またこのような事が生じた場合は、総合的な責任は推薦者に発生するものとする。

7. 2019年度申請手続き

（1）申請書 讃樹會所定の申請書「第1号～第8号様式」を書面で「書留便」などの確実な方法で提出のこと。提出部数は原本各1部、複写各4部。

（2）受付期間 2019年2月1日～2019年5月7日（締切日必着）。

（3）提出先 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部医学科同窓会讃樹會 担当 柚山

TEL・FAX:087-840-2291 E-mail: dousou@med.kagawa-u.ac.jp

URL: <http://www.kms.ac.jp/~dousou/index.html>

8. 選考結果の通知・公表

結果は文書で本人に通知する（2019年8月の予定）とともに、会報に受賞者による謝辞を掲載する。尚、提出書類は返却しない。

9. 守秘に関する留意点

特許、守秘義務を交わした協同研究である等の理由で守秘が必要な場合は、上項6.研究成果の報告義務及び8.選考結果の通知・公表について勘案し、申請者の自己責任において応募すること。

平成 年 月 日

香川大学医学部同窓会讃樹會
会長 佐藤清人殿

香川大学医学部同窓会讃樹會

2019年度 (研究助成金／奨励金申請書) (どちらかを○で囲んで下さい)

フリガナ			生年月日、年齢、卒業年度
申請者氏名	印		19 年 月 日生、 歳、 年卒
所属機関	(機関名) (部科名) (職名)		
所属機関住所	〒 一 都道 府県	TEL ー ー FAX ー ー E-mail	
自宅住所	〒 一 都道 府県	TEL ー ー FAX ー ー	
研究題目			
申請金額			
共同研究者名	氏 名 (フリガナ)	万円	
他からの 助成の有無	有・ 無		

申請者氏名	
-------	--

研 究 内 容 説 明 (1)

研究目的（背景、目的、本研究の意義や重要性などについての確に記載して下さい）

申請者氏名	
-------	--

研 究 内 容 説 明 (2)

研究方法

申請者氏名	
-------	--

研 究 内 容 説 明 (3)

予想される結果

医学界における本研究の位置づけ

申請者氏名

支 出 経 費 内 訳 予 定

費 目	金 額	内 訳	備 考
備 品 費（器 具） （20万円以上のもの）	千円		
旅 費 ・ 人 件 費			
消耗品・その他経費			
合 計	千円		

申請者氏名	
-------	--

申 請 者 研 究 略 歴

申 請 者 略 歴	
所 属 学 会	
主 要 研 究 歴	
その他賞罰など	

申請者氏名	
-------	--

申 請 者 主 要 発 表 論 文

主要発表論文（最近5年以内）

申請者氏名	
-------	--

推薦者

■上記の研究助成の申請を推薦します。また、やむを得ず申請者が報告などの手続きを完了できない場合には、申請者に代わってすべての責任を負うことに同意します。

承認者氏名(直筆)、および印

所属機関

職 名

氏 名

印

推薦理由

--

研究助成金／研究奨励金申請書記入要領

1. 研究助成金／研究奨励金申請書（第1号様式）

必ずカッコ内の研究助成金／研究奨励金のいずれかを丸で囲んでください。

- ・共同研究者名：共同研究者（研究歴は不要）を記入して下さい。記入欄が不足の時は、別紙をつけて下さい。
- ・他からの助成の有無欄：該当の有無に○で囲み、有りの時は、文部科学省科研費、その他団体等の名称、研究題目、研究助成金額を記入して下さい。

2. 研究内容説明（1）

- ・研究目的欄（第2号様式）：本研究目的を明確に記入して下さい。記入欄が不足の時は、別紙をつけて下さい。

3. 研究内容説明（2）

- ・研究方法欄（第3号様式）：本研究の計画、方法を記入して下さい。記入欄が不足の時は、別紙をつけて下さい。

4. 研究内容説明（3）

- ・予想される結果欄（第4号様式）：本研究の予想される結果を記入して下さい。記入欄が不足の時は、別紙をつけて下さい。
- ・医学界における研究の位置づけ欄（第4号様式）：本研究の医学界における研究の位置づけを記入して下さい。記入欄が不足の時は、別紙をつけて下さい。

5. 支出経費内訳（第5号様式）

- ・支出経費は、1年間の支出経費内訳を記入して下さい。
- ・備品費（器具）：1点20万円以上のものです。備品（器具）の購入のみとすることは、ご遠慮ください。
- ・旅費・人件費：旅費、研究補助者等の謝金などです。旅費は、実費に基づいて計算して下さい。旅費は、助成額の総額の30%以下とします。なお、外国出張の旅費は認めません。
- ・消耗品・その他経費：1点20万円未満の器具・文房具・薬品・通信費・資料費等で、上記以外の経費です。

（記入例）

費 目	金 額	内 訳	備 考
備 品 費 （ 器 具 ）	350千円 175	ガスクロ 低温恒温水槽	
旅 費 ・ 人 件 費	75 150 40	学会発表 研究補助者謝金 文献調査旅費	
消耗品・その他経費	125 25 40	薬品 通信費 印刷費	
合 計	980千円		

6. 申請者の主な略歴（第6号様式）

現在から過去に遡って記載して下さい。

- ・申請者略歴欄（記入例）

200〇年〇〇月 ▽▽大学助教授。
19〇〇年〇〇月 △△大学大学院△△課程修了。
19〇〇年〇〇月 香川大学医学部卒業（香川医科大学）。

・主要な研究歴欄（記入例）

- (1) 培養平滑筋細胞を用いて行った……………研究。（1992～1999）
- (2) 人体における……………研究。（1980～1982）

・所属学会欄（記入例）

- (3) 日本生理学会
- (4) 日本衛生学会（評議委員）

・その他賞罰など（記入例）

- (1) 200〇年 香川県の地域医療への貢献として、香川県より感謝状授与
- (2) 200〇年 米国心臓財団Young Investigator Award受賞
- (3) 19〇〇年 日本腎臓学会大島賞受賞

7. 申請者の主要な発表論文欄（第7号様式）

最近5年以内に発表されたオリジナル論文を記入して下さい。（解説・総説は含まない）

現在から過去に遡って記載して下さい。

・（記入例）

- (1) Sanjyu K, Sanuki T, Kagawa H. High fat diet and the development of hypertension. J. Clin. Hypertens. Res. 2006 (in-press).
- (2) 讃岐太郎, 香川花子. 香川県の医療を充実させるために必要な事は? 日本地域医療雑誌. 1999; 5: 12-21.

論文の著者は**申請者並びに申請者より前の著者を全員書いて下さい**。また、採択が決定した論文(in-press)については、1部コピーを提出すること。過去に当財団から助成を受けた申請者は、謝辞付きで学術誌に発表した論文をすべて助成番号をつけて記載（最近5年間の論文の中に含まれている分については、助成番号を付記）するとともに別刷を添付して下さい。ただし、すでに提出済みの別刷を除きます。すべてが評価項目となります。

・記入欄不足の時は、別紙をつけて下さい。

8. 推薦者欄（第8号様式）

- ・推薦者の氏名は直筆で記入して下さい。
- ・推薦理由欄には推薦者と申請者の関係を明記して下さい。